

科目・コース（ユニット）名： 医療入門 A
英語名称： Introduction to Medicine A

【担当責任者】 大谷晃司 安井清孝 安田恵（医療人育成・支援センター）

【連絡先】 大谷晃司 kotani@fmu.ac.jp

【開講年次】 1 年, 【学期】 前期・後期【必修／選択】 必須

【授業形態】 講義／実習

【概要】 このコースは、専門課程に入り必然的に各学問領域の知識を分析的に学ばなければならなくなる前に、人間や人体というものを俯瞰するために、あるいは、医療の実験の一部を経験してもらうことを目指している。

コース前半では、生体のはたらきの様々な面を概観し、特に全身状態の変化や異常兆候を素早く把握するために欠かせない生命兆候（＝バイタルサイン）の測定の仕方や心肺蘇生法を実習することにより、生命維持に必要な体の働きの理解を深める。さらに日常の感染予防に不可欠な正しい「手洗い」方法を身に付け、医療処置の基本となる「清潔」の概念を理解する。あるいは、患者さんの移動や体位変換を経験することで、この後に実施する臨床の現場での実習（早期ポリクリニック、地域実習Ⅰ・Ⅱ）に参加できる基礎的な知識を身に付けることを目指す。

さらに本コースでは、9月に実施される医学部4年生対象の臨床実習前OSCEにおいて、模擬患者（Standardized/Simulated Patient）・補助者として参加する機会を設ける。これにより、医療者としての視点とは異なる「患者の立場」から診療場面を体験し、コミュニケーションのあり方、態度、言葉遣い、非言語的な配慮の重要性について早期から考える契機とする。

コース後半では、6月の早期ポリクリで、医師・看護師・非医療職の視点から病院機能を支える各役割と連携を学んでいるのを前提とし、受付から診察、会計までの全ての流れに付き添い、必要に応じて各場所に患者を案内しながら、患者の話を聞くことで、患者の視点で外来受診の流れ、病院の仕組みを体験し、外来診療における各職種の関わりを学ぶエスコート実習（患者さん付き添い実習）を行う。

【学習目標】

- ① バイタルサインとは何か説明できる。
- ② バイタルサインを測定できる
- ③ 基本的な心肺蘇生ができる
- ④ 感染対策に有効な手指消毒及び手洗いができる
- ⑤ 日常用語とは異なる医療上の「清潔」と「不潔」の概念を説明できる

- ⑥ 臨床医学の一端に触れ、総合科学、基礎医学、社会医学の重要性を理解する
- ⑦ 患者の視点から、外来受診の流れ、病院の仕組み、外来診療における各職種の間わりを説明できる
- ⑧ 模擬患者として診療場面に参加することを通じて、患者の立場から医療者の態度やコミュニケーションのあり方を振り返り、その重要性を説明できる。

【教科書】特に指定しない。

【参考書】特に指定しない。

【成績評価方法】

出席状況・学習態度・レポート内容等により総合的に判定される。

実習は完全出席が必須、講義は60%以上の出席が必須である。

注意：実習の班編制や実習の時間や場所については、実習前に通知するので、教育研修支援課からの連絡を見落とさないこと。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

体位変換、車椅子実習は、本学独自の取り組みである。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内容	担当教員	備考
1	4月28日	火	6	ガイダンス	大谷晃司	第2臨床講義室
2	5月19日	火	5-7	体位変換、車椅子実習（看護学部）	黒田るみ、他	8号館スキルラベーション
3	7月7日	火	4-6	Basic Life Support (BLS)	伊関憲、他	7号館大会議室
4	9月3日	木	4	手洗い実習（講義）	安井清孝	化学・微生物・免

						疫学実習室
5	9月3日	木	5-6	手洗い実習	安井清孝、他	化学・微生物・免疫学実習室
6	9月3日	木	7	臨床実習前 OSCE における模擬患者について	安田恵	化学・微生物・免疫学実習室
7	9月10日	木	4	バイタルサインとは？	挾間章博	第1講義室
8	9月10日	木	5-6	脈拍、呼吸、聴診実習	安井清孝、他	化学・微生物・免疫学実習室
9	10月8日	木	4	手洗い/血圧測定筆記テスト	安井清孝、他	第1講義室
10	10月15日	木	4-6	血圧/バイタル測定実習	安井清孝、他	第1講義室
11	10月22日	木	4-6	総合実技試験（手洗い、バイタル測定）	安井清孝、他	化学・微生物・免疫学実習室
12	10月27日	火	3	患者さん付き添い実習（エスコート実習）オリエンテーション	大谷晃司	第1講義室
13	11月10日	火	1-3	エスコート実習1班	大谷晃司、 安井清孝、 諸井陽子、 中村光輝、 青木俊太郎、 安田恵、他	附属病院、第1講義室
	11月17日	火	1-3	エスコート実習2班		
	11月24日	火	1-3	エスコート実習3班		
	11月26日	火	1-3	エスコート実習4班/講義・演習A		
14	12月1日	火	1-3	エスコート実習5班/講義・演習A		
	12月10日	木	1-3	エスコート実習6班/		
15	1月8日	金	1-3	エスコート実習7班/講義・演習B		
	1月12日	火	1-3	エスコート実習8班/講義・演習B		
	1月20日	水	1-3	エスコート実習9班/講義・演習C		

16	1月27日	水	1-3	エスコート実習10班/講義・演習C		
	1月28日	木	1-3	エスコート実習まとめ		

* エスコート実習では、ケーシー（＋白衣）着用のこと。身だしなみの詳細については、オリエンテーションで説明する。

【担当教員】

教員氏名	職	所属
挾間 章博	名誉教授	福島県
黒田 るみ	教授	看護学部 基礎看護学部門
伊関 憲	教授	救急医療学講座
長谷川 有史	教授	放射線災害医療学講座
大谷 晃司	教授	医療人育成・支援センター
安井 清孝	助教	医療人育成・支援センター
中村 光輝	助教	医療人育成・支援センター
青木 俊太郎	助教	医療人育成・支援センター
安田 恵	助手	医療人育成・支援センター
諸井 陽子	助手	医療人育成・支援センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する